



1 基本構想

(1) 校訓

強く 正しく 明るく

(2) 目指す学校

岳洋愛にあふれた「日本一の学校」

ア どんな学校？

- ・岳洋愛にあふれた「あいさつ」いっぱい学校
- ・岳洋中校歌を、みんなが大きな声で歌える学校
- ・自分や仲間のために、積極的に考動する学校

イ 生徒の具体的な行動？

日常生活

- ・誰に対しても、岳中愛あふれる挨拶をする。
- ・落ちているゴミを見つけたら、進んで拾う。

授業

- ・常に時計を見て時間を意識し、進んで2分前着席の呼びかけをする。
- ・仲間と活発に議論したり、前に出て身振り手振りで説明したりする。

学級や生徒会活動

- ・悪口に対しては「やめようよ」、困っている仲間には「大丈夫」と言える。
- ・地域のために「〇〇しよう」、生徒会活動で「△△しよう」と提案する。

その他

- ・自分で決めた目標に向かって、コツコツ努力する。
- ・花王内外のボランティア活動へ積極的に参加する。



(3) 学校教育目標

！光り輝く！ 自信を持ち、自分の力を発揮する生徒

(4) 重点目標

岳洋中全体の目標

みんなのために「自分から考動する」

## 2 具体的な方策「実践4本柱」

### (1) 柱1 自己肯定感の向上

「自分には良いところがある」「自分は大切にされている」と思えなければ、勉強をがんばろう(I 自分のこと)、周りに優しくしよう(We 相手のこと)、という気持ちにはなれない。つまり、自己肯定感が高ければ、主体性は育ちやすい。そのため、実践4本柱の中で、「自己肯定感の向上」は、最も重要な取組と位置づける。

#### ア 光輝賞

- (ア) 重点目標達成に向け、手本となる取組や継続実践した生徒に授与する。自己肯定感向上に係る本校の称揚システム。→「称揚のボイスシャワー」に日々取り組む。
- (イ) 大勢の受賞を目指し、良い取組を教師や生徒同士が積極的に見とる。→月各学級1名が目標。表彰対象は個人。3年間で1回は受賞させたい。
- (ウ) 推薦と承認
- ①教員や生徒が、日々の称揚ボイスシャワーを心がける。→毎日の班長会(帰りの会)で「今日の光輝賞」を発表する等、相互承認に努め、それを受賞につなげる。
  - ②教員や生徒が、対象となる生徒の推薦カードを、生徒指導主事に提出する。
  - ③学年主任が毎週の経営委員会で、該当生徒の取組を説明。学年主任は毎週(日々)学年職員から、推薦カードの提出があるよう、積極的に啓発する。
  - ④承認されたら、2週間に一回程度を目安に、昼の放送で全校表彰する。
- (エ) 賞状は、自宅に持ち帰った後に、飾りたくなるくらい豪華なものにする。筒に入れて大事に持ち帰り、家の人にも褒めてもらう。
- (オ) 賞状はカラーコピーし、生徒昇降口に掲示する。継続して称揚する手立てや、本人・周りのモチベーションアップとする。また、岳中ニュースでも称揚、紹介する。

#### イ 称揚のスーパーボイスシャワー

- (ア) 日常のオーバーすぎる位の「称揚のボイスシャワー」に心がける。  
「ありがとうね」「助かるよ」「ごころうさま」でもOK
- (イ) 教員が率先垂範し、称揚の温かい雰囲気在校内中に広げる。



#### ウ「岳洋愛にあふれた挨拶」の称揚

- (ア) 次のような「岳洋愛にあふれた挨拶」の実践を大いに称揚する。
- ・「岳中を挨拶日本一の学校にしたい」という思いがあふれた挨拶
  - ・「地域の方や来客に、岳中って素晴らしい学校です」と伝えるような挨拶
  - ・「自分の挨拶で、相手を気持ちよくさせたい」という思いがこもった挨拶
- (イ) ①遠くからでも、②相手がこちらを見ていなくても、③笑顔で、④大きな声で、⑤相手を気持ちよく。等を 生徒会活動でも中心活動とし、実践を称揚する。

#### エ その他

- (ア) いじめの早期発見、早期対応に努め、いじめがないことを自慢にする。
- (イ) 教員と生徒の信頼関係の構築。(先生方が生徒と一緒に遊ぶこと◎)
- (ウ) 委員会や学級における「輝いていた人=今日の光輝賞」等による相互承認の機会。
- (エ) ステージアンケートの「自分には良いところがある」について、各学年90%以上、学級でも90%以上を目標にして、取り組む。(しかける)

→ **「自分は大切な存在である」と自覚でき、自己肯定感が向上する。**  
**【指標】自分には良いところがある → 90%以上**

## (2) 柱2 たくましさの育成(自己有用感の向上)

自己肯定感に加え、自己有用感(自分は誰かの役に立っているという思い)が高いと自分に自信を持ったたくましい生徒が育ちやすい。そこで、次の2本で育成する。

ア 校内外の様々な事柄を積極的に体験し、外側からたくましさを育てる。

イ 自分に自信をつける等、内面からたくましさを育てる。

### ア 様々な事柄を積極的に体験し、「個」を強くする。→外側からたくましくなる

(ア) 様々な体験活動(経験値の向上、五感教育)

- ・授業における体験的な活動、人材活用、外部との交流。(負担になる機会増は×)
- ・校外の「〇〇作品募集」「△△参加者募集」「ボランティア活動」「絵画展覧会」「音楽鑑賞会」等を積極的に勧め、しかける。
- ・A I時代の今だからこそ、五感を大切に。→美しいと感じられる心が大切。

(イ) たくましさを育成する指導(特に「自力登校」)

- ・日常の指導→「雨が降ったら車で送迎▲」「忘れ物を持ってきてもらう▲」「宿題等がやってなくて休む▲」「仲間のちょっとした発言で傷つく▲」etc.
- ・人間関係プログラム、学級活動や道徳による指導。

### イ ピカピカの表現力(武器)を身につけ、自信をつける。→内側からたくましく

(ア) 取組の中心は「総合的な学習の時間」

- ・周りへ自分の取組や、将来の夢等を発信する『探求学習』の実践。  
→自分の取組や考えが、周りに受け入れてもらっている実感。
- ・プレゼン能力や表現力を磨く。  
→外部講師を招聘し、プレゼンや表現力向上にかかる指導を頂く。  
(探究学習のカギ、わかりやすい説明、表現する上で大切なこと、その他 etc。)
- ・光輝発表会を開催し、岳中生の表現力発表の場とする。【例】1年生…自分の好きを届けるP、2年生…職業〇〇の魅力、3年生…地域とコラボした防災実践



(イ) 教科横断的な学習

これについて、本校は「表現力」で勝負する。日々指導する際にどの教科でも、総合的な学習の時間に培った表現力を意識して授業実践する。

①立って、皆の方を向いて発表する。丁度よい声の大きさや、声の明るさ。

②単語は× →主語と述語「私は、△△の理由から、□□と考えました。」

③前に出て説明する機会を意図的に増やす。 ※①～③を大いに称揚。

### ウ 日常の「魅力ある学校づくり」

(ア) 学級、学年、学校で楽しい取組。→春のミニ遠足、お楽しみ会、昼休みの遊び 等

(イ) 日常の「居場所づくり」「絆づくり」→相互承認、L&F活動(日直班活動)

(ウ) 各推進部で、次の光輝で「強肯定を増やすアイデア」を考える。

→「たくましさ」が育ち、不登校が少しずつ減少する。

【指標】学校が楽しい → 95%以上

### (3) 柱3 自治活動の充実

#### ア 「L&Fアクト」の実践 → L(リーダー)とF(フォロワー)の意図的育成

- (ア) リーダー班活動(リーダーとフォロワーの育成指導)により、自治活動の意識を向上させる。
- ①年度初めに、リーダーとフォロワーの在り方を啓発し、4月に実践をスタートする。
  - ②主は、呼びかけ活動。→2分前に「席ついて」の呼びかけが、リーダー班と、それ以外の生徒の声、学級中に響きわたり、全員が2分前に席へ着く。
  - ③毎日の帰りの会で、一日のリーダーぶりとフォロワーぶりを確認、承認。  
→1週間で交代できるよう、お互いのために必死になって取り組む。
- (イ) リーダー班は、以下のことも当番活動として取り組む。その結果、教室は常にきれいで、生徒も自分からゴミを拾うようになる。教員は放課後の確認や称揚でOK。
- ①移動教室の窓閉めと消灯 ②放課後の窓閉めとカーテン絞り ③ロッカー周り整頓
  - ④机の整頓 ⑤ゴミ掃きと拾い ⑥教室の最終見届け



#### イ 生徒提案による主体的な生徒会活動

- (ア)-1 本部は、年間を通して取り組む重点事項(例「あいさつ日本一」等)を設定。  
-2 正副会長以外の本部役員は、担当専門員会を決め、常にテコ入れする。
- (イ) 各輝を、P D C Aサイクルで取り組む。
- P**①本部で原案を練る。  
②連合委員会で小柱を2つ設定し、原案について話し合う。(第○火曜日の放課後)  
③専門委員会→・②で決定したことを確認する。(各委員は学級へおろす。)  
・自分たちの達成目標(数字等)と実践の手立てを確認する。
- D**④-1…専門委員会、学級、生徒一人一人が実践する。  
-2…本部や委員長が目標達成を目指し、活動の周知や成果を、掲示・放送する。
- C**⑤-1…重点事項と専門委員会の達成目標把握アンケート(達成度総選挙)をとる。  
-2…結果を「達成おめでとう生徒集会」で全校生徒へフィードバック。
- A**⑥本部や連合委員会で、結果をもとに改善の手立て。→次光輝の①②③へ
- (ウ) 点検活動や当番活動も大事だが、生徒の手によるクリエイティブな活動を活発に。  
【例】学校図書館行列大作戦 → ○達成目標を「月100人(学級5人以上)」設定  
○「読みたい本や優良雑誌<総選挙>発表」
- (エ) 達成おめでとう生徒集会、生徒会掲示板とお知らせボードによる活動の見える化。

#### ウ 清掃活動に全力

- (ア) 清掃活動は全職員が率先垂範し、清掃時間は全教職員が活動する。
- (イ) 全力の「黙働清掃」と、時間いっぱいまでの「見つけ清掃」。
- (ウ) 専門委員会で「きれいなトイレ総選挙」や「校内きれいな場所写真展」等。
- (エ) 清掃場所交代のローテーションはなるべく長いスパンで。全校統一する。

→ 自ら日常生活の課題を見つけ、解決する力を向上させる。

【指標】「みんなのために自分から考動することができた」90%以上

## (4) 柱4 学力向上

- ・柱1～柱3の取組により、非認知能力を高め、それをベースに学力を高める。
- ・全国学力学習状況調査で、授業改善の成果を出す。【令和8年4月23日(木)】  
→新学習指導要領の内容を具現化したもの。この調査ができれば、授業改善ができて  
いる証拠になる。「前年度アップし、生徒を大いに称揚しよう」

### ア 「読書指導と音読指導」の推進

- (ア) 全国学調「読むこと」が高い学校は、読書量が多い。その逆もまた真なり。
- (イ) 本に親しむ環境づくり
  - ①早めに「朝読書」に取り掛かる習慣、②実物本の推奨、③活発なB T・読聞かせ会
  - ④図書館いつでも入室&カフェ風環境づくり、⑤生徒自ら読みたい本・雑誌の購入
- (ウ) 音読指導の推進→日常の授業で音読の機会を増やす。声に出すことの重要性。

### イ 岳洋式「きく・が・わ授業」の実践

- ・仲間の方に体を向けて真剣に、「聴く(きく)」 →聴く力の育成  
まずは聴く力の育成が学力向上の源。頷きながら、イメージを膨らませる。
- ・自分の考えやまとめをたくさん「書く(が)」 →書く力の育成  
書く力の徹底育成。学習内容定着アップのため、文字言語でアウトプットする。
- ・大きな声でわかりやすく「話す(わ)」 →対話する力・説明する力の育成  
まず結論を述べ、次に理由を明確にして発表。前に出て説明の機会を増やす。

### ウ 「まとめ」の充実

※「音で広げて、文字で刻む」

文字言語で学習を深く刻む。蓄積する。

- (ア) まとめ(振り返り)の重要性 →「何となくわかった」にしない。
  - ・個人学習…熟考したことを「文字言語」にすることで、より確かなものに。
  - ・まとめ…わかったことを「言語化」することで、理解力向上や新たな発見に。
- (イ) まとめ書き方
  - ①板書を参考にして ②仲間の発表を参考にして ③キーワードを使って
  - ④文字数を制限して ⑤さらに考えてみたいこと
- (ウ) まとめ扱い

良い内容を発表 → 板書して青囲み → 生徒は追記



### エ その他

- (ア) 外部人材活用による効率化。業者の支援を効果的に活用する。
- (イ) チアアップシート等を計画的に活用し、国が身に付けさせたい学力とは何かを、教員や生徒が知る機会にする。自習の時間を積極的に活用。**2年生はスペシャル学年。**
- (ウ) 岳中放課後学習会(仮)の実施。毎月第一月曜日の放課後等の1時間を使って希望生徒に、高校生が勉強を教えてくれる。

→ **学力を向上させて、自分に自信を持つ。(自己肯定感向上、不登校減少)**

**【指標】**・全国学力学習状況調査 → 1教科で「平均正答率を上回る」

・「授業がよく分かる」 → 90%以上

- ①上記の「4本柱」実践することにより、重点目標が達成(90%)される。
- ②これらを徹底した「PDCAサイクル」で実践する。
- ③「見える化」と「情報発信」を心掛ける。

「目標は常に見えるところに掲示→取組を確実に振り返ってF B  
→それを元に次期の再構築」ができれば、目標達成できる。



## 5 その他

### (1) 主体的な行動に係る取組→「ノーチャイムデイ」

- ア 水曜日の「ノーチャイムデイ」を少しずつ増やし、いつかは完全ノーチャイムに。
- イ 生徒の主体的な行動実践の場とする。自治活動である「呼びかけ活動」をより活発にするための手だて。この活動を成功させ、大いに称揚する。

### (2) 働き方改革

- ア ゆとりある年間授業日数(年間206日以上)にし、教職員の「多忙感」を解消する。
- イ 生徒にとっても、ゆとりある教育計画とし、不登校減少の一対策とする。
  - ・各学期のスタートの2～3日間は、午前中日課。
  - ・連続して昼休みに、行事の練習や会合等を入れない。楽しく過ごす時間を確保する。
- ウ 月と水の5時間日課を継続する。
  - ・月曜日は「学級・学年の日」として、全員参加の会議は入れない。
  - ・全体に係る会議は水曜日のみとし、時間は必ず1時間以内になるよう工夫する。
  - ・火または木曜日の5時間の日は「生徒会活動の日」、金曜日は「部活動の日」
- エ 長期休業明け午前日課、成績事務週間、テスト採点時間確保、10月進路希望面談
- オ 年休の積極的な取得。特に家族休暇は積極的に。
  - ・バースデイ年休(年度初めに学年部で♡)、ライフプラン休暇、ハッピー水曜日。
- カ お楽しみ会的業務改善提案(もちろん、校長賞あり(笑))、ボーリング大会、プレミアム〇〇デイ、光輝目標達成お祝い教職員版(「良いところがある→強肯定60%」でご褒美) 等。

## 6 目標値

- |   |     |     |
|---|-----|-----|
| (1) みんなのために「自分から考行動する」ことができた                  | →目標 | 90% |
| (2) わたしには良いところがある                             | →目標 | 90% |
| (3) 学校が楽しい                                    | →目標 | 95% |
| (4) 授業がよくわかる                                  | →目標 | 90% |
| (5) 学校に信頼することができる先生がいる                        | →目標 | 90% |
| (6) みんなで何かをするのは楽しい                            | →目標 | 95% |
| (7) 授業に主体的に取り組んでいる                            | →目標 | 95% |
| (8) 地域や社会を良くするために、何をすべきかを考えることがある             | →目標 | 80% |
| (9) 学級の生徒との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う | →目標 | 90% |
| (10) 授業では、コンピュータなどのICTをどの程度利用したか。             | →目標 | 99% |